

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分
感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス													2025年								
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~3日	8月 ~10日	8月 ~17日	8月 ~24日	8月 ~31日	9月 ~7日
カンピロバクター	57	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	10	9	3	10	8 (11)	8
病原性大腸菌	79	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	28	24	9	18	18	15
腸管出血性大腸菌	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	0	0	1	1	0	0
サルモネラ	5	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	2	0	2	6	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	12	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	5	6	1	7	8 (9)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	3	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	2	4	0	5	3 (5)	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	0	0	1	0	1	0
ロタウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	4	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	0	0	0	0	1

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC)
感染症週報

令和7年第36週(9月1日~9月7日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			2		2		1
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症	2			1			1	
四類	7	A型肝炎	1					1		
		つつが虫病	1			1				
		日本紅斑熱	3	1		2				
		レジオネラ症	2	1				1		
五類	114	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2							2
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		梅毒	9			2		6		1
		百日咳	102	11	39	12	1	24	6	9

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中市、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和 7年36週(9月1日～9月7日)

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり8.14人と増加し、広島県が設定した新型コロナ医療ひっ迫注意報基準値(定点当たり8)を上回りました。

2 伝染性紅斑

定点当たり2.32人の報告がありました。減少傾向ですが、多い状況が続いており、注意が必要です。妊婦が感染すると胎児水腫や流産を引き起こす可能性があるため、特に注意が必要です。

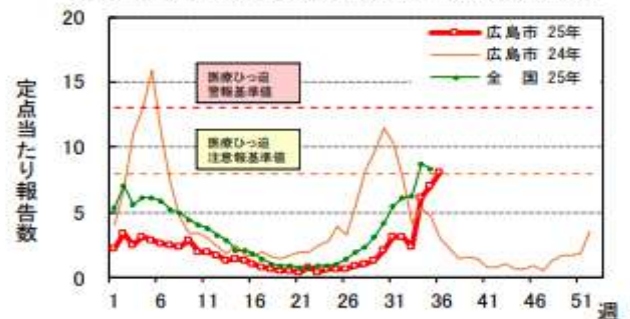
3 手足口病

定点当たり0.68人の報告がありました。第30週以降減少傾向でしたが、再び増加しており、注意が必要です。

4 レジオネラ症

1件の報告がありました。今年の累計は24件となり、昨年の年間報告数(23件)を上回りました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年平均(注)	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい	前週と比較しておおむね		
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1983	56.66			小児科	突発性発しん	3	0.14	0.22		急増減	↑	↓		前週と比較しておおむね1:2以上の増減		
	インフルエンザ	-	-	0.35			ヘルパンギーナ	10	0.45	0.71		増減	↗	↘		前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減		
	新型コロナ(COVID-19)	285	8.14				流行性耳下腺炎	1	0.05	-		微増減	↗	↘		前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減		
小児科	RSウイルス感染症	9	0.41	0.75		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。				ほとんど増減なし		
	咽頭結膜熱	9	0.41	0.16			流行性角結膜炎	12	1.50	0.40								
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46	2.09	1.02		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)		35				
	感染性胃腸炎	111	5.05	2.43			無菌性髄膜炎	2	0.33	-						小児科定点数		22
	水痘	3	0.14	0.12			マイコプラズマ肺炎	6	1.00	0.83								
	手足口病	15	0.68	1.70			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-						基幹定点数		6
	伝染性紅斑	51	2.32	-			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-								

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	91	70歳代、80歳代
4	A型肝炎	1	5	20歳代・推定感染地域：国外
4	レジオネラ症	1	24	70歳代
5	後天性免疫不全症候群	1	5	30歳代・エイズ
5	梅毒	6	106	20歳代・3人、30歳代・1人、40歳代・1人、70歳代・1人
5	百日咳	24	863	10歳未満・4人、10歳代・7人、20歳代・3人、30歳代・2人、40歳代・5人、50歳代・1人、60歳代・1人、70歳代・1人